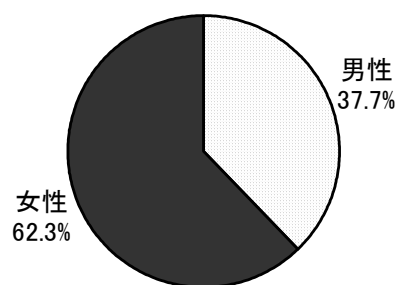


## 2 障がいのない人

### (1) 回答者の属性

問1 あなたの性別について、どちらかに○をつけてください。

性別については、「男性」の割合が最も高く 37.7%、「女性」の割合が 62.3% となっています。

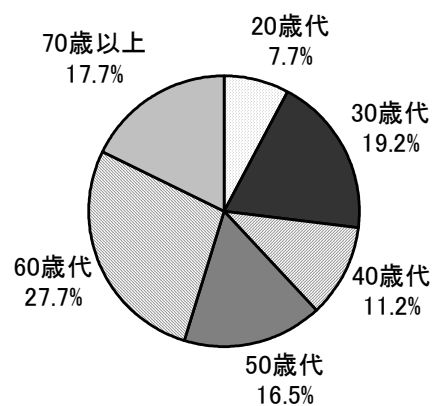


有効回答数: 260件

図 性別

問2 あなたの年齢を記入してください。(平成 19 年 12 月 1 日現在)

年齢については、「60 歳代」の割合が最も高く 27.7% となっており、次いで「30 歳代」の割合が 19.2%、「70 歳以上」の割合が 17.7% となっています。

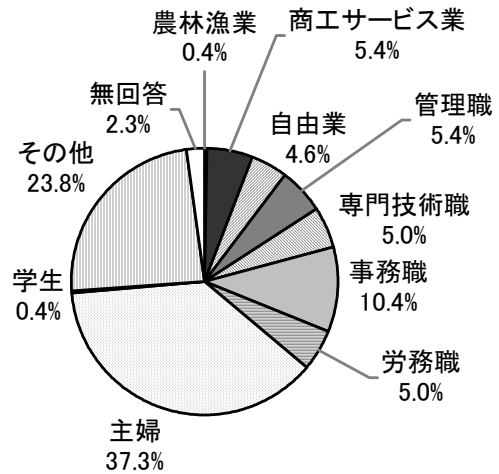


有効回答数: 260件

図 年齢

問3 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

職業については、「主婦」の割合が最も高く 37.3%となっており、次いで「事務職」の割合が 10.4%となっています。



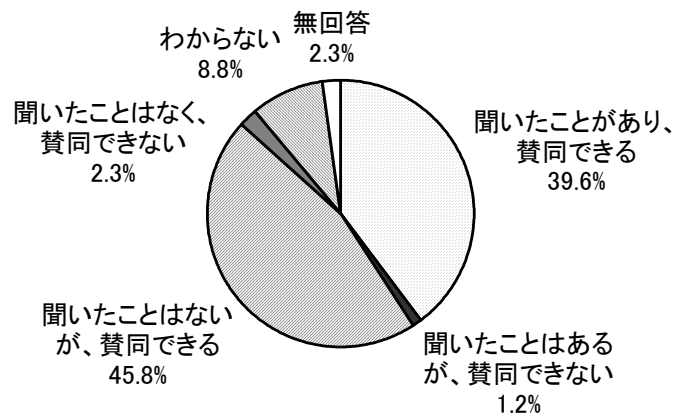
有効回答数: 260件

図 職業

## (2) 共生社会について

問4 「共生社会」とは、障がいの有無等にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「共生社会」については、「聞いたことがあります、賛同できる」の割合が 39.6%となっており、「聞いたことはないが、賛同できる」をあわせた「共生社会」という言葉に賛同できる人の割合が 85.4%となっています。

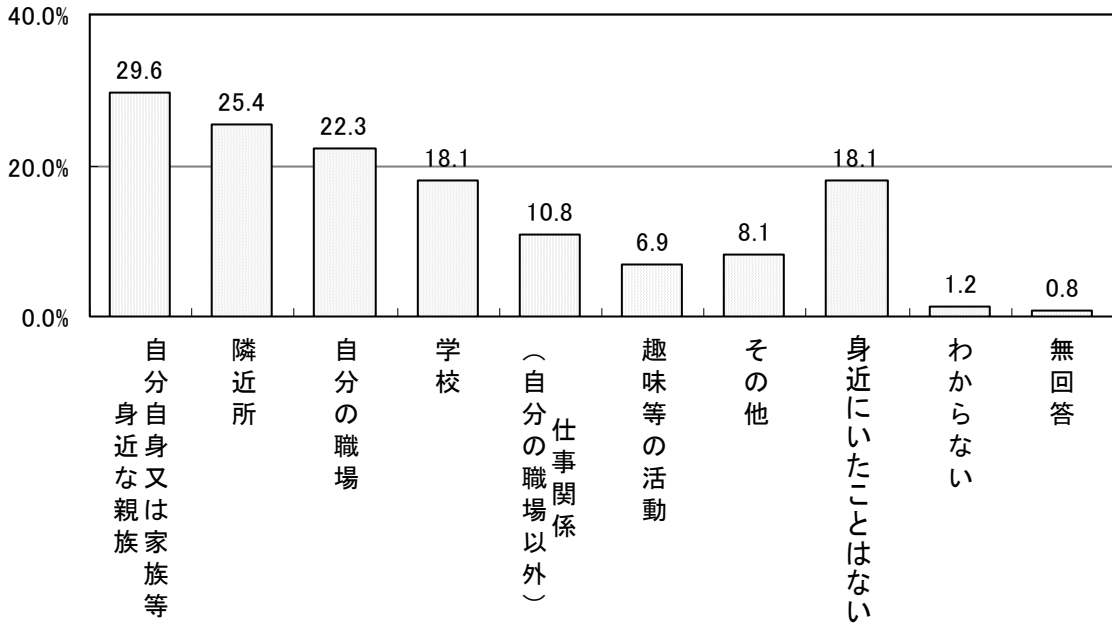


有効回答数: 260件

図 「共生社会」について

問5 これまで、あなたの身近に障がいのある人がいたことはありましたか。また、それはどのような場面でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

身近にいる障がいのある人の有無については、「自分自身又は家族等身近な親族」の割合が最も高く 29.6%となっており、次いで「隣近所」の割合が 25.4%、「自分の職場」の割合が 22.3%となっています。

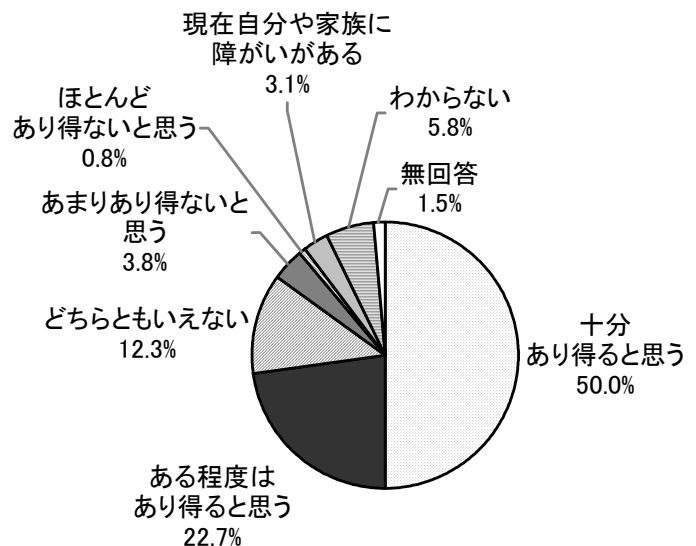


有効回答数：260件

図 身近にいる障がいのある人の有無

問6 あなたは、将来において自分や家族が障がいのある状態になることがあり得ると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

将来、障がいのある状態になると思うかについては、「十分あり得ると思う」の割合が最も高く 50.0%となっており、次いで「ある程度はあり得ると思う」の割合が 22.7%、「どちらともいえない」の割合が 12.3%となっています。

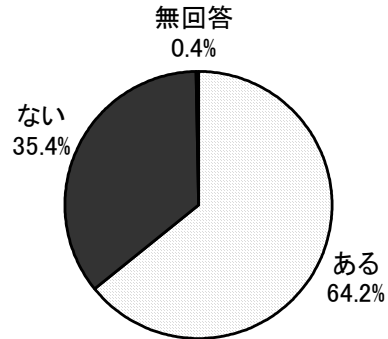


有効回答数：260件

図 将来、障がいのある状態になると思うか

問7-1 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがありましたか。どちらかに○をつけてください。

障がいのある人と話したり、手助けをした機会の有無については、「ある」の割合が64.2%、「ない」の割合が35.4%となっています。

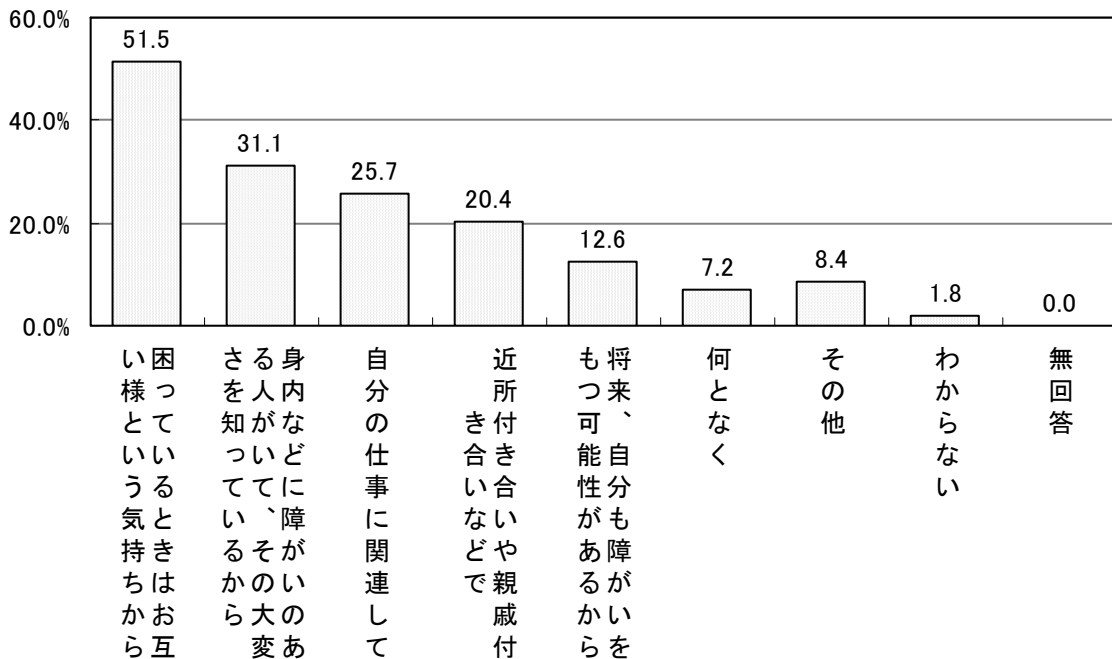


有効回答数: 260件  
 図 障がいのある人と話したり、手助けをした機会の有無

問7-1で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問7-2 それはどのような気持ちからですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人と話したり手助けした理由については、「困っているときはお互い様という気持ちから」の割合が最も高く 51.5%となっており、次いで「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」の割合が31.1%、「自分の仕事に関連して」の割合が25.7%となっています。



有効回答数: 167件

図 障がいのある人と話したり手助けした理由

問7-3 それはどのような話や手助けでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人と話したり手助けした内容については、「相談相手、話し相手」の割合が最も高く 36.5%となっており、次いで「一緒に遊んだ」の割合が 31.1%、「車椅子を押した」の割合が 30.5%となっています。

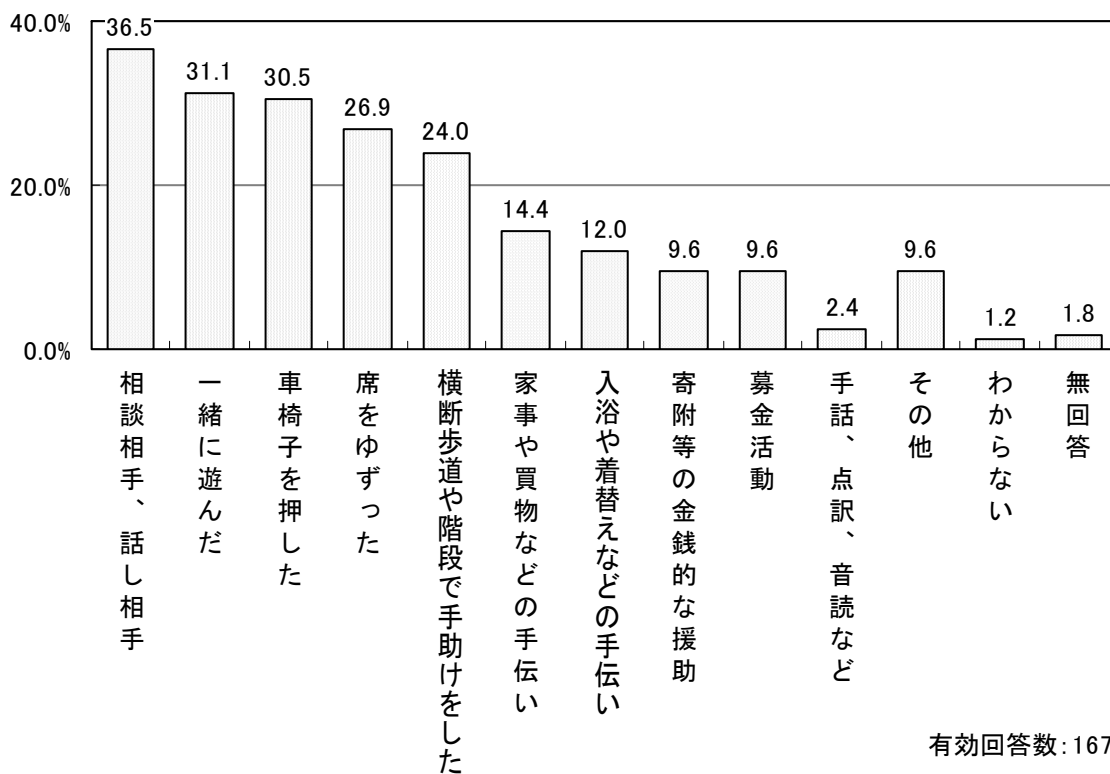


図 障がいのある人と話したり手助けした内容

問7-1で「ない」と答えた方にお聞きします。

問7-4 その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人と話したり手助けしたことがない理由については、「たまたま機会がなかったから」の割合が最も高く 64.1%となっており、次いで「どのように接したらよいかわからなかったから」の割合が 23.9%、「自分が何をすればよいかわからなかったから」の割合が 15.2%となっています。

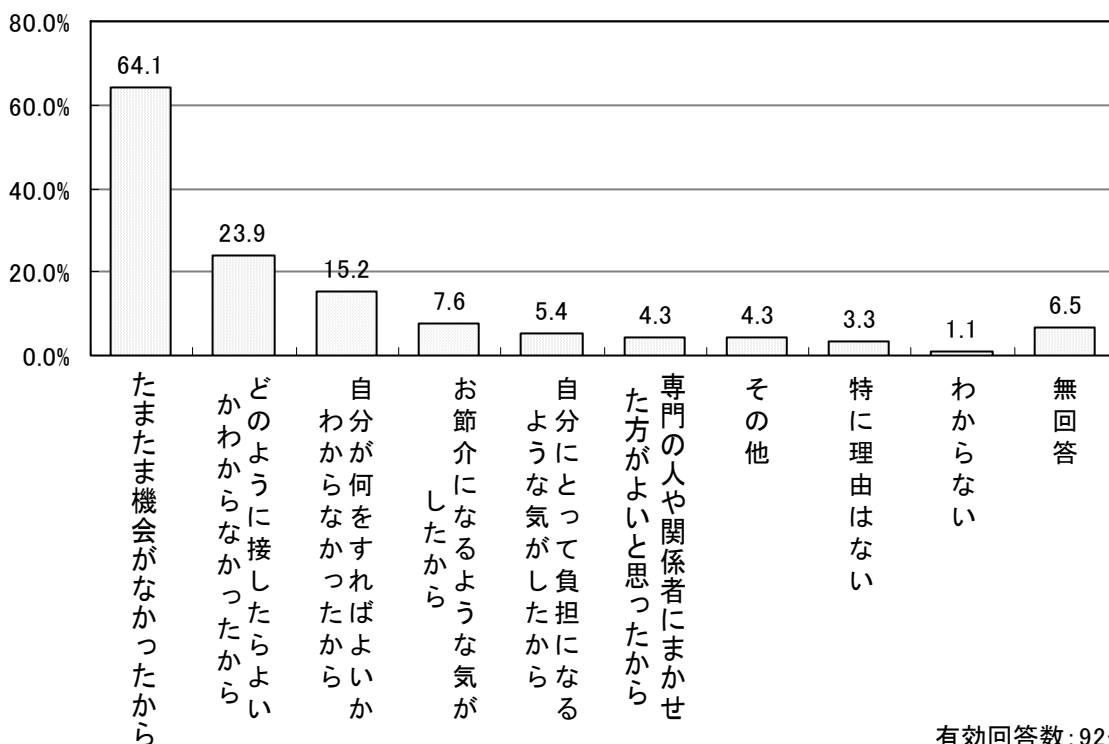


図 障がいのある人と話したり手助けしたことがない理由

問8 あなたは、世の中には障がいがある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

社会的な差別や偏見の有無については、「あると思う」と「少しはあると思う」をあわせた障がいに対する社会的な偏見があると感じている人の割合が 87.6%となっています。

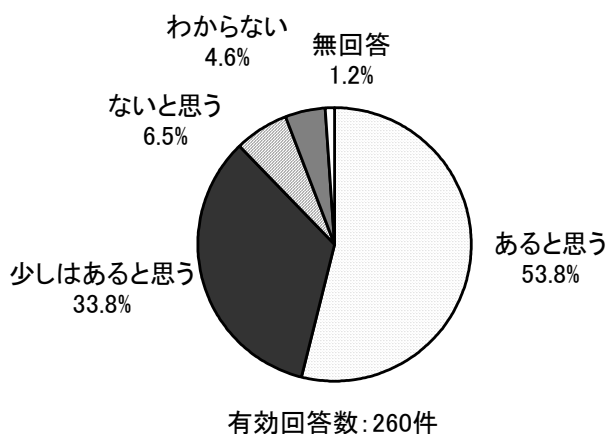
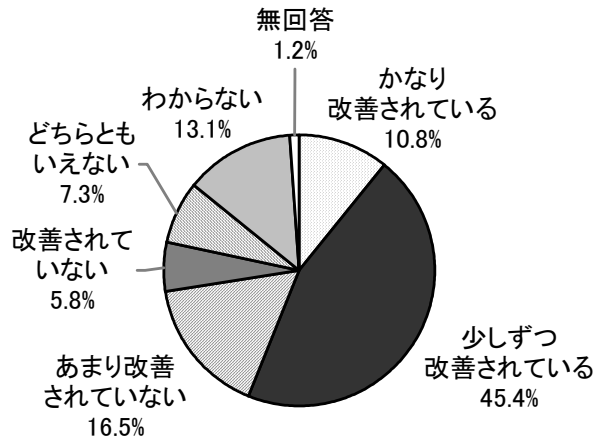


図 社会的な差別や偏見の有無

問9 あなたは、5年前と比べて障がいのある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある人に対する差別や偏見の改善については、「かなり改善されている」と「少しずつ改善されている」をあわせた改善されてきていると感じている人の割合が56.2%となっています。一方で、「あまり改善されていない」と「改善されていない」をあわせた改善されていないと感じている人の割合が22.3%となっています。

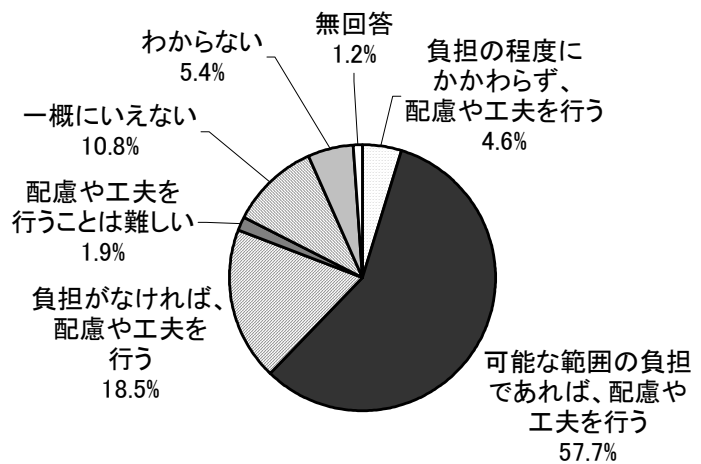


有効回答数:260件

図 障がいのある人に対する差別や偏見の改善

問10 障がいのある人とない人が同じように生活していくために必要とされるこうした配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともありますが、あなたはどうしますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある人への配慮や工夫については、「可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う」の割合が最も高く57.7%となっており、次いで「負担がなければ、配慮や工夫を行う」の割合が18.5%、「一概にいけない」の割合が10.8%となっています。



有効回答数:260件

図 障がいのある人への配慮や工夫

問 11 あなたは、障がいのある人のために企業などの民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がいのある人のために企業などの民間団体が行う活動への希望については、「障がい者になっても継続して働くことができる体制の整備」の割合が最も高く 61.9%となっており、次いで「障がいのある人の雇用の促進」の割合が 60.4%、「障がいのある人に配慮した事業所等の改善・整備」の割合が 46.9%となっています。

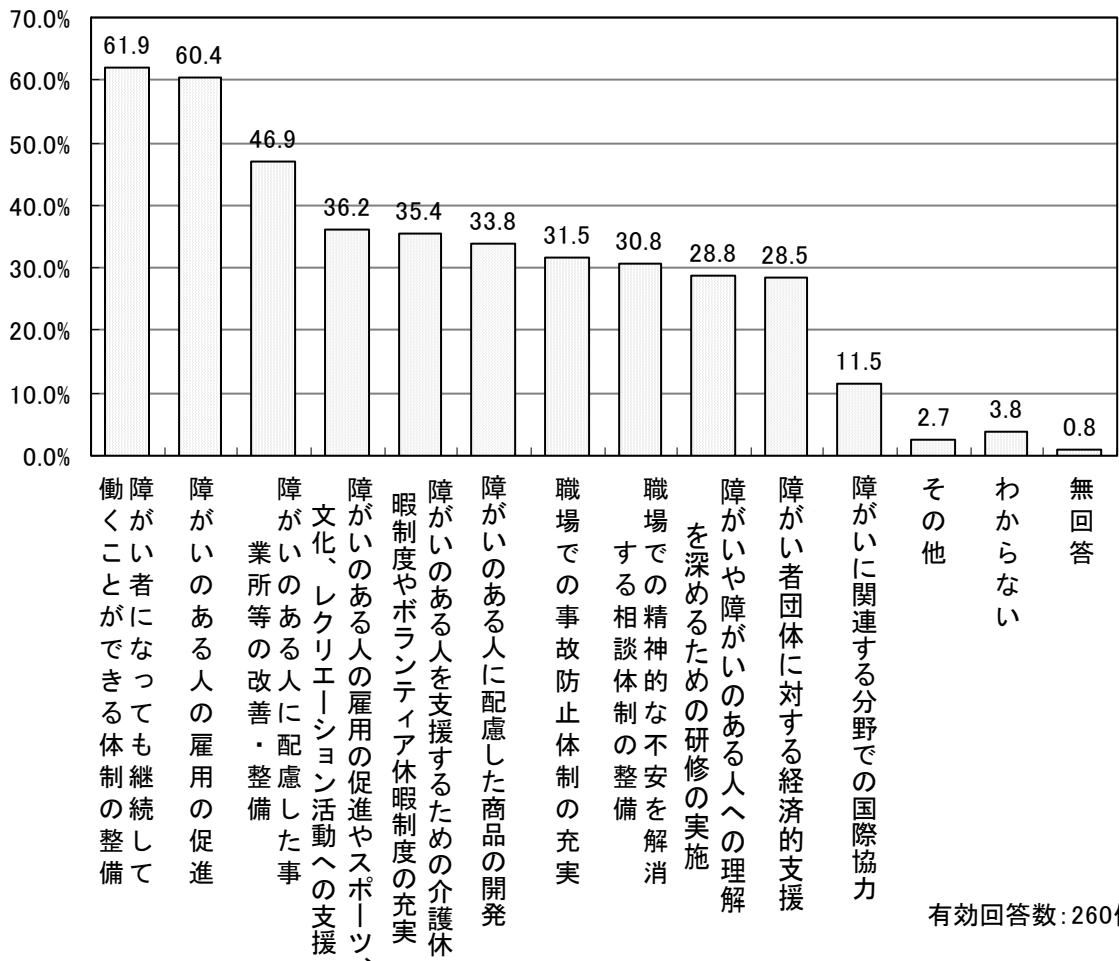


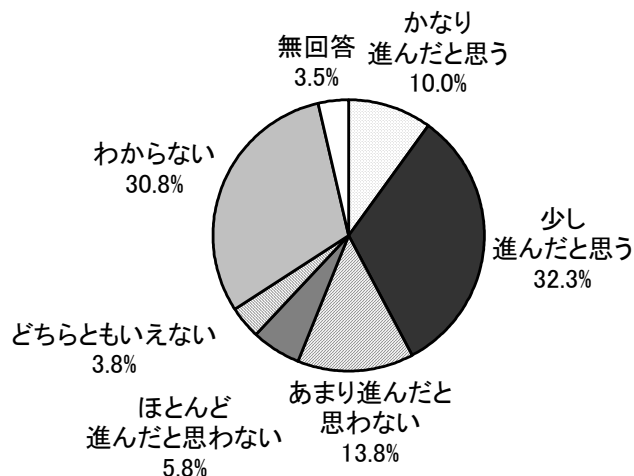
図 障がいのある人のために企業などの民間団体が行う活動への希望



### (3) 障がい者施策について

問 12 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけ、どのような点でそう思うのか記入してください。

障がい者施策について、「かなり進んだと思う」と「少し進んだと思う」をあわせた5年前に比べて障がい者施策は進んでいると感じている人の割合が42.3%となっています。一方で、「あまり進んだと思わない」と「ほとんど進んだと思わない」をあわせた5年前から障がい者施策は進んでいないと感じている人の割合19.6%となっています。

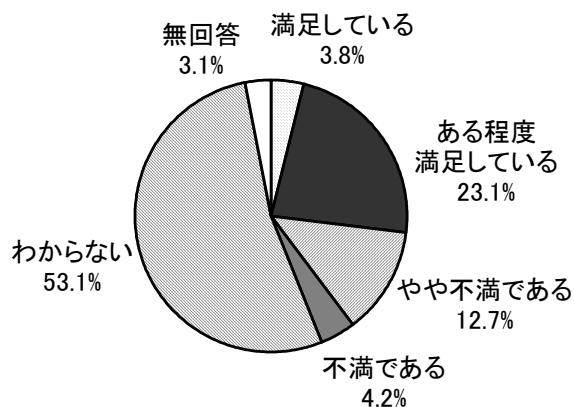


有効回答数:260件

図 障がい者施策について

問 13 あなたは、春日井市における福祉・教育・雇用・まちづくりなど、障がい者の施策について満足していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がい者施策への満足度については、「満足している」と「ある程度満足している」をあわせた障がい者施策に満足している人の割合が26.9%となっています。一方で、「やや不満である」と「不満である」をあわせた障がい者施策に不満である人の割合が16.9%となっています。



有効回答数:260件

図 障がい者施策への満足度

問 14 あなたが今後、特に充実すべきだと考える障がい者の施策について、あてはまるものに5つまで○をつけてください。(無理に5つを選ぶ必要はありません)

今後、充実したほうがよい障がい者の施策については、「障がい者の雇用促進」の割合が最も高く 45.4%となっており、次いで「相談窓口や相談指導をする体制の充実」の割合が33.8%、「生活介護（デイサービス）などの充実」の割合が32.7%となっています。

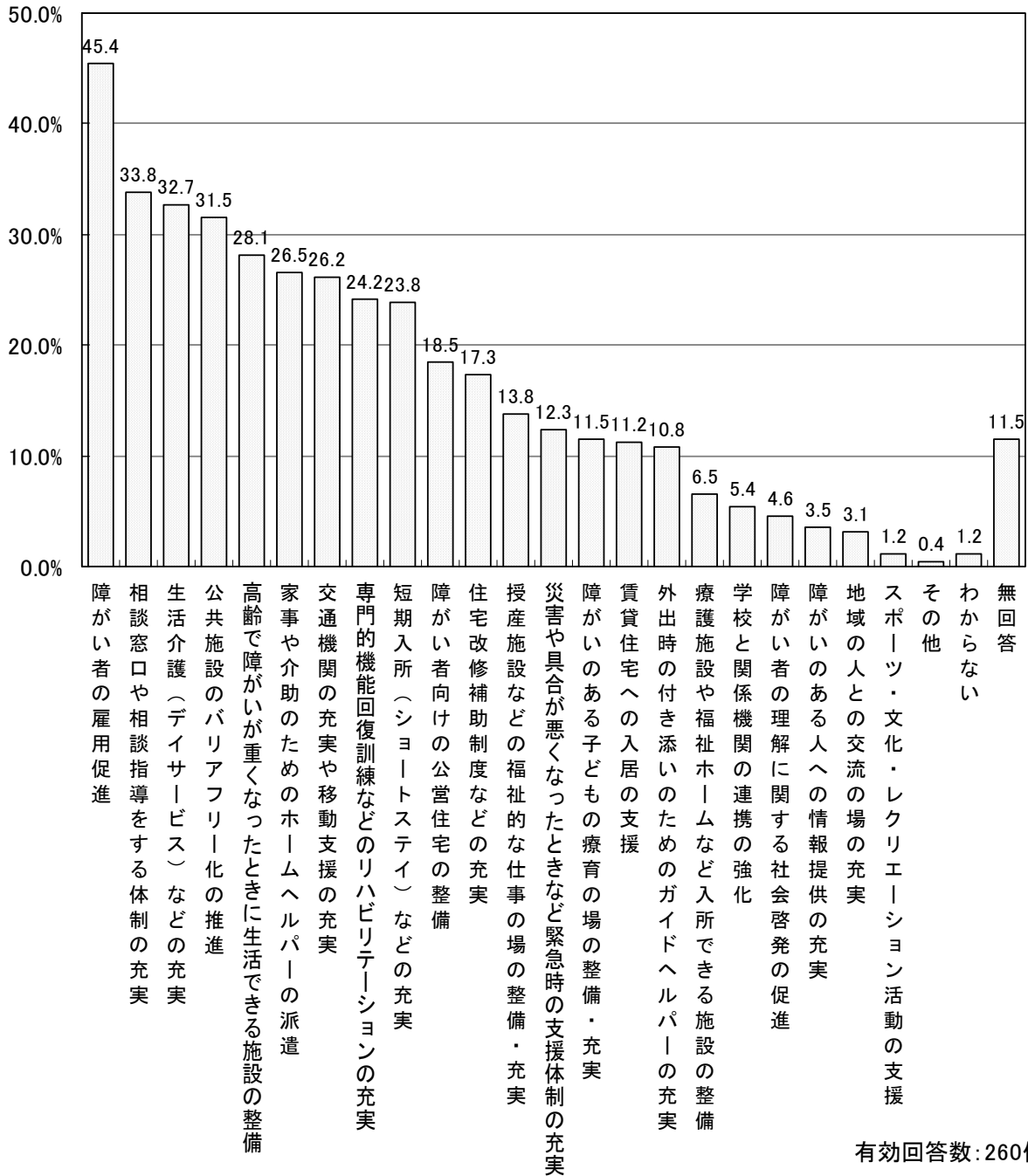


図 今後、充実したほうがよい障がい者の施策